

パート2
災害支援ナース活動報告

看護部 福川 雅子

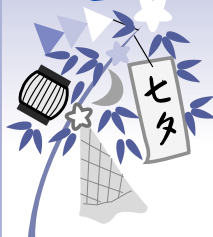
4月16日から20日まで、復旧が進まない東北自動車道を通り宮城県石巻市立門脇中学校(避難所)に行きました。避難所での主な業務は、「配給を取り置きして後で食べた事での胃腸炎患者の対応」、「汚泥が舞うなか上気道炎症状が多くその予防」、「配給の偏りによる慢性疾患の悪化に対して病院受診を勧める」「何の話でも聞く相手となる」でした。避難所で住民が困っていることは、配給のものを食べられない住民への対応方法や炊き出し時の余り物と使い捨ての容器の処理方法がないことでした。助けを求めねば何も変わらず、物資も避難所ごとに格差があり、通信手段が復旧してきた状態でも連携が取れておらず手段が有効活用されていないことを残念に思いました。

一市民としてボランティアで地域を巡回していた看護師との出会いで、一看護師としても被災時に学ぶものは多々ありました。全体を通して、「東北の人の我慢強さ」「独りよがりでなく人との支え合いが生活を支えている」という事を痛感しました。



石巻城址から見た風景

七夕コンサート開催



7月24日、毎年恒例となっている七夕コンサートを3階のデイルームで開催しました。コンサートでは榊原彩さん(栄町)のフルート演奏に入院患者さま及び家族の方々およそ60人が聴き入り、メロディを口ずさんだり体リズムをとったりして、楽しい午後のひとときを過ごしました。



お知らせ

被保険者証が変わります

8月から後期高齢者医療制度の被保険者証が変わります。

色が藤色へと変わりますので、8月からは新しい保険証をご持参ください。

節電へのご理解を

今夏の電力不足、CO2削減のため、グリーンカーテンの利用をはじめ、院内各所において節電に取り組んでいます。ご不便をお掛けすることがあるかと思いますがご理解をお願いします。

春夏秋冬

基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共に在る病院を目指します。



森町家庭医療センター玄関ロビーイメージ図

家庭医療の診療を行う診療所と森町訪問看護ステーションが併設する「森町家庭医療センター」の建設工事は順調に進んでいます。12月1日にオープンします。

公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1
TEL. (0538) 85-2181 / 予約専用TEL. (0538) 85-0270

ホームページアドレス <http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/>

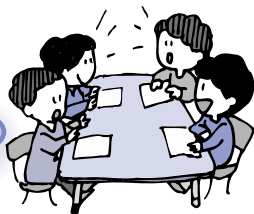
新入職員リフレッシュ研修開催

6月18日、今年度の新入職員に加え、昨年度の中途採用職員が職種を問わず集まり、日ごろの業務の疲れをリフレッシュしました。心身共にリフレッシュできるように研修は院外の施設で行いました。レクリエーションやグループワークで職種を越えてお互いの交流も深まり、チームワークの大切さを学びました。

グループワーク



グループワーク



リフレッシュ
体操



ウェルカムボードで歓迎!!

新入職員の皆さん「ようこそ森町病院へ!!」の気持ちで3年前に始めたウェルカムボード。院内の全部署が、それぞれ工夫を凝らした作品で、新入職員を迎えます。今年もアイデアいっぱいの楽しい作品が出揃いました。

一部の部署のウェルカムボードを紹介します。

回復期リハビリ
テーション病棟



内視鏡室

臨床検査科・
健診ドック室



栄養科



第21回

森町カンファレンス開催

7月2日、第21回森町カンファレンスを森町文化会館小ホールで開催しました。当院職員をはじめ近隣医療機関の職員など50人ほどが集まりました。最初に、当院外来スタッフから事例発表を行い、続いて浜松医科大学 森田浩助教の特別講演を行いました。



事例発表

「当院外来における糖尿病療養指導の取り組み」

当院外来看護師 岩田みち子
保健師 小澤 由葵

発表内容：療養指導では患者さまと個別に関わり、自己の生活習慣の改善に主体的に取り組めるよう支援したことで、指導対象者の約7割に改善が見られています。今後は看護外来にて糖尿病の患者さまの指導だけでなくさまざまな療養相談に対応していきたいと考えています。

特別講演

「2型糖尿病治療の新しい展開 ～肥満を有する糖尿病治療の課題～」

浜松医科大学内科学第二講座 森田 浩 助教

講演内容：治療には薬による管理のみならず、患者本人の食事管理や体重管理も重要である。また、医師をはじめ医療従事者は、患者の話を聞き患者サポートをしっかりやる必要がある。

